

印刷労連は浜野よしふみさんを支援しています！

印刷労連は、2018年8月31日に開催された「第1回中央委員会」で、第25回参議院議員通常選挙に向けて、現参議院議員の「浜野よしふみ」さんを推薦することを決定しました。

今号は浜野よしふみさんの魅力と、印刷労連との連携の一部を掲載します。

浜野よしふみさんより「皆さまへのメッセージ」 まっすぐに力強く！これまでもこれからも！

社会の基盤を支え続けている職場の皆さま、仲間の皆さまのご尽力に心より敬意を表し、日頃からのご支援に熱く感謝申し上げます。

我が国は、様々な課題を抱えながらも世界に誇るべき国家です。先人は多くの困難を乗り越え、優れた社会・制度を構築してきました。

一方、我が国の国力を削ぎかねない人口減少や財政悪化、平和を力に変えようとする北東アジアの脅威増大など、現状は厳しさを増しています。

今後、やるべきことはこれらの情勢変化を踏まえ、守るべきものと見直すべきものを冷静・堅実に見極めていくことです。間違っても、現状を変えることを目的とする、誤った改革主義に陥ってはなりません。

このような考え方にに基づき、国力を継続的に高めていくため、持続可能な社会保障・財政、充実した子育て・教育、責任あるエネルギー・安全保障など、真つ当な政策を徹底的に求めていきます。

今後とも、皆さまとともに行動してまいります。引き続き、ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

浜野喜史

浜野よしふみさんの魅力に迫る

もっと知ろう 「浜野よしふみ」さんプロフィール



■生い立ち

昭和35年(1960年)12月21日 兵庫県高砂市生まれ。3人きょうだいの長男。あだ名は「ペロくん」。父親譲りで、つきたてのお餅のように手が柔らかい(握手させて頂く機会があれば、確かめてみてください)。

■子ども時代

のびのびと育ててくれた両親のもと、故郷の海や山を駆け回るやんちゃ坊主でした。小学生・中学生の時は地元の野球チームで活躍したとのこと(本人談)。

■高校・大学時代

加古川東高校入学、卓球部に入部。神戸大学(経済学部)入学。応援団に入団して、団長を務めました。この頃、団の運営に苦労した経験が、その後の組織活動にも役立っています。

■関西電力時代

昭和58年4月、関西電力に入社。昭和60年4月17日、組合活動への専従を決意した日の夜、甲子園でバース・掛布・岡田のバックスクリーン3連発を目撃。平成9年に関西電力労働組合本部書記長に就任しました。

■電力総連時代

平成11年に全国電力関連産業労働組合総連合(電力総連)事務局長に就任、東京に転居。生まれて初めての関西以外の生活で、薄味ものが恋しくて泣いていたとか。平成17年、電力総連会長代理。

■国会議員を目指したきっかけ

電力総連の皆さんにご推薦を頂いたことに加え、平成7年の阪神・淡路大震災や、平成23年の東日本大震災に際し、電力関連産業で働く仲間の寝食を忘れた奮闘に、電力マンとしての使命感を痛感したことから、責任ある政策を実現しなければならない、という決意を固めたことがきっかけ。その後、平成25年に参議院議員当選。

■信条・性格

信条は「感謝と誇り」。性格は「決めたことは最後まで貫く一本気」(要はガンコという指摘も…)。

■趣味など

趣味は読書とスポーツ観戦。特に、読書に関しては、議員会館の大きな本棚に収まらないほど、労働やエネルギー政策をはじめ、幅広い分野の書籍があります。パソコンを使わない(使えない?)ので、国会での質問の原稿などはすべて手書きです。お酒は紙パックの芋焼酎がお気に入り。議員会館では焼きサバご飯とツナサラダのお昼ご飯が定番です。

「浜野よしふみ」さん政策の3つの柱(ホームページより抜粋)

皆がいきいきと

働ける社会

をめざします!

- 雇用のセーフティネットの整備・充実をめざします。
- メンタルヘルス対策をはじめとする労働環境、安全衛生に関わる政策・制度の充実をめざします。

将来にわたる

安定的なエネルギー政策の

確立をめざします!

- 電力関連産業の健全な発展をめざします。
- 安心・安全を万全にしつつ、エネルギーの安全保障・地球環境保全・経済成長を同時に達成するためのエネルギー政策を確立します。

継続と改革の実行を通じた

公正で活力ある社会

をめざします!

- 国民一人ひとりが安心して暮らすことができる社会保障制度をつくります。
- 働く者の視点に立った、公平・公正な税制度をつくります。

印刷労連と「浜野よしふみ」さんとの連携

■議員懇談会の開催

印刷労連は、中央執行委員会などの機会を活用し、支援する議員との懇談会を定期的で開催しております。国政報告をいただき、様々な情報共有を図っています。



活動報告をする浜野よしふみさん

■産業政策要望の政界への反映

印刷労連は、産業を発展させるために、政策要望を支援する議員へ提出しています。浜野よしふみさんは、我々の声を国会へ届けていただくひとりでもあります。



田倉中央執行委員長（左）から浜野よしふみ議員（中）と小林正夫議員（右）へ産業の声をお渡ししました。

印刷労連が提出した「産業政策要望書（一部抜粋）」

1. 事業構造の変化に伴う雇用の創出

および教育の機会均等

日本は人口減少時代に入り、少子高齢化による労働力人口の減少下にある。よって企業にとって持続可能のもと事業を成長させていくには、人材の確保と定着が不可欠である。また、加速するデジタル化やIT化、更にはAIやビッグデータの活用など事業構造の変化に伴い、職業能力の開発機会の提供、そして、雇用の維持と安定ならびに人材育成が必要不可欠である。従って、職業能力開発の施策や職業訓練機能の強化、助成制度の充実を求めたい。

2. 中小企業政策

印刷情報メディア産業における中小・地場の企業の割合は9割以上を占めており、その労働者の果たす役割は大きい。地方では中小・地場の企業が果たす役割はさらに大きく、その発展は地域の活性化には不可欠である。中小企業における経営者の高齢化は深刻であり、事業継承に向けた各種支援策の拡充と充分なる活用、支援体制の整備を求めたい。

3. 取引の適正化

日本の産業・企業は「サプライチェーン」でつながることで多層構造化しており、各段階で生み出された付加価値が適正に評価されない場合、そのしわ寄せは中小企業に影響する。とりわけ受注産業である印刷情報メディア産業においては、原材料費の高騰によるコストを価格転嫁できないケースや、競争激化や優越的地位の濫用等による受注単価の下落など、本来得るはずの利益を逸失する状態も散見される。このような状況が続けば、中小企業の存続をはじめ、賃上げや労働条件改善に向けた原資の確保ができなくなる。従って、経済産業省策定の「印刷業における下請適正取引等の推進のためのガイドライン」と印刷労連策定の「印刷産業における適正な取引の推進」も含め、行政を通じた適正な取引の推進をさらに進展いただくよう求めたい。

4. 環境政策

日本のエネルギー需給の構造的逼迫や世界規模におけるCO₂排出量の問題、地球温暖化問題など一層の省エネルギー対策の推進が必要であり、とりわけ産業部門では工場や事業所などエネルギー使用量が多く、省エネルギー対策が必要である。従って、CO₂排出量削減に向けた再生可能エネルギーや多様なエネルギー活用、温室効果ガスの削減等の長期的および計画的な取り組みを求めると共に、廃棄物処理およびリサイクル対策に向けた循環型社会の構造や化学物質に対するリスク管理の強化を求めたい。

5. 「働く空間」と健康支援

「働き方改革関連法」が施行される中、「オフィス環境」における労働者への支援はあまり進んでおらず、より円滑なコミュニケーションにより知的生産性を高め、また健康で働き続けられるための「オフィス環境」への支援策は今後必要である。

『働き方改革』のための「法整備、制度整備」とあわせ、「オフィス環境の先進化」、オフィス環境の整備に伴う導入促進のための助成制度等を求めたい。

6. 従業員代表制への対応

雇用形態が多様化しており、正規労働者のみならずパート・アルバイト・派遣社員・契約社員など非正規労働者が増加している中で、労働組合としての過半数代表制に対する危機感が生じている。過半数代表制については、その選出方法が不適切なケースも生じており適正な過半数代表の選出を求めたい。

7. 在宅勤務およびモバイル勤務などの法制化

ワーク・ライフ・バランスの実現のために、仕事と生活を両立させ、各々の能力を最大限発揮できるよう多様な働き方が重要である。従って、在宅勤務およびモバイル勤務などを行う際に、労働時間や休憩時間、時間外労働や休日労働など労働基準法の適用について実効性を求

めると共に長時間労働対策や労働安全衛生法の適用を求めたい。

8. 育児および介護支援対策

少子高齢化が進む中、子育てや介護などの支援対策がより一層重要な取り組みとして求められており、離職に至らないような工夫が必要である。そのため、次世代育成支援対策法に基づく計画の進捗状況、および達成状況

の把握と、より実効性あるものにするために必要な支援措置、また、くるみんマークなどの認証マークの周知徹底を求めたい。さらに育児介護による離職防止のための職場における相談体制の整備や、育児・介護休業法と各種制度の周知等、社会と企業で支え合える仕組みを構築することを求めたい。



政策実現のため一致団結した浜野・小林両議員と中央執行委員

印刷労連向け「浜野よしふみ」さん活動報告(一部抜粋)

■中小企業政策について

中小企業にとって喫緊の課題である事業承継を円滑に進めるための取り組みについて、また中小企業における人材育成への支援策について経済産業省から説明を受けました。経済産業省としては「事業承継税制」や「事業承継補助金」といった制度について拡充を図っていること、人材育成については中小企業大学校で研修事業を実施していることについて説明がありました。私からは「こういった制度がしっかりと活用されるよう周知徹底を図っていただくこと」、「中小企業が気軽に相談でき、個別事情に応じきめ細やかな助言が可能となる体制を構築すること」について要望しました。



2019年1月18日
経済産業省に対しての要請



■取引の適正化について

印刷業における適正な取引実現のための取り組みについても、説明を受けました。経済産業省としては「印刷業における下請適正取引等の推進のためのガイドライン」を策定するとともに、様々な業種を横断する形で取引ルールを明確化し運用することで、サプライチェーン全体で賃上げできる環境を整備していくと説明がありました。私からは、「ガイドラインが浸透するよう業界団体に働き掛けを行っていただくこと」を要望しました。

今回の要請をはじめ、印刷労連の皆様の要望を実現できるよう、引き続き、全力で取り組んでまいりますので、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。



浜野よしふみ

検索



「浜野よしふみ」さんはさまざまな SNS で情報を発信しています。ぜひご覧ください!